

辺野古新基地 NO！の知事を誕生させる支援体制を急ごう 現地支援者の組織、大阪で街頭宣伝・カンパを強めよう！

本日午前、辺野古・キャンプ・シュワブゲート前での住民集会で、衆院議員の玉城デニー氏が知事選出馬に向け調整していることから、「市民感覚があり、翁長雄志知事の後継者にふさわしい人物。出馬してもらおうよう声を届けよう」との訴えに、拍手が起こりました。その座り込みの最中に、今日もアベ政権は新基地への資材搬入を強行しました。絶対負けない知事選挙、安倍政権をさらに追い込む好機です。



大阪革新懇は18日午後、京橋駅で18人が参加して、沖縄知事選支援の街頭宣伝を行いました。代表世話人や銀行革新懇、国公革新懇、寝屋川・羽曳野革新懇のみなさんが訴え、チラシを配布しました。翁長知事の死去、辺野古新基地の土砂投入など関心も強く、時期を得た宣伝行動となりました。対話も進み、いったんビラはいらんと手で拒否した男性は、「沖縄のことが、そんならもうわ」と受け取ってくれました。かりゆしを着た、見るからに沖縄出身かと思える男性は、ビラは拒否し

ながら周辺をうろうろしていたり、「こんなところで沖縄か」と言って立ち去る人。以前にメディア革新懇のつどいをビラで見て参加してくれた若い人が偶然、通りかかって、「革新懇のことは何かようわからないけど、なんか行事があったら知らせてください」と新たなつながりがうまれました。

宣伝に参加したメンバーからは、こんなに大きな反響があるんや、もっと大掛かりに府下各地で訴えながら、沖縄現地派遣・カンパなど考えられること全部やろう、と感想がありました。

堺で「辺野古新基地建設反対の市議会決議」もとめる請願署名のスタート集会 会場あふれる501人の参加



稲嶺進さんを迎えた集会は、18日に開催されました。なんと定員400人の会場に501人の参加で、資料も足りず、通路に座る方、ロビーで音声だけ聞く方、怒って帰る方など大盛況の集会となりました。翁長さんの遺志に応え、請願署名を成功させようと誓い合うことが出来ました。呼びかけに応じて、ベビーカー押して3人の子連れでママが来られたり、新任教員の女性や保育士さんが仲間を連れての参ど、辺野古に新基地はつくらせないの思いが市民をつなげていることを実感させる集会として、成功させました。

重要なお知らせ

①第2弾沖縄知事選支援の街頭宣伝（三線ライブも）を8月31日（金曜日）午後6時より京橋駅連絡口で行います。労働組合・民主団体など賛同団体、地域革新懇、職場革新懇、メディア革新懇、美術家革新懇から複数のご参加をお願いします。個人会員や全国革新懇読者のみなさんなど、どなたでも「支援したい」方々による大宣伝を行います。

②沖縄現地支援者を募りましょう。河南ブロックの地域革新懇は、20人を手配するなど続々と相談が入っています。が、9月の16日前後から、または23日前後は、連休や大きなイベントがあるために、飛行機やホテルが取りづらくなっています。全国革新懇は9月11日より、那覇市に常駐者による支援者受け入れ体制をとり、21日から3日間を集中期間にしていますが、これに拘らずに、みなさんで相談し合って早々に航空券とホテル手配をされるようお勧めします。手配の相談が必要な方は、090-1591-8920（服部）まで。